

2021 「山ちゃん通信」 No,14

大分大学教育学部附属小から学ぶ

今年度、同校の学校評議員を拝命いたしました。同校の価値や良さを多く発見して伝えることで、少しでもお役に立てる存在となるよう努力します。また、同校の実践を積極的に発信することで、管内の学校とつなぐことも私の役目だと思っています。

1 最上位の目標とそれぞれの目標が連鎖している

学校の教育目標は、以下のように資質・能力の3つの柱をもとにつくられています。

未来に向かって高い志を持ち、人や社会と豊かに関わり、自己を磨き高め合う子どもの育成をさらに具現化するために、各学年テーマ（目標）は、上記の3点をもとに子ども達と共に作成していました。例えば5年生の学年テーマは「さすが！ ～考え・動き・認め合う～」と定め、子どもや教職員が日常の授業や行事において意識することで、継続、発展的な成長が期待されます。

2 4つの取組と5点セットの校内研究

校内研究を①学級経営（安心） ②外国語（活力） ③生活・総合（発展） ④教育課程研究・県の課題（フォローアップ、道徳）に関わる授業の4点について、それぞれ責任者を決め、重点目標や外部評価等の5項目を定め組織的に取り組んでいます。さらに、これらの取組をより効果的に進めるためにカリキュラムマネジメントを推進します。

今年度は、外国語の公開だけでなく、「提案授業させてください。一緒に考えたいです」の呼びかけのもと、校内研究会を7回公開します。働き方改革に加え、さらなる改革に取り組む附属小学校からは目が離せません！



勇進力

真剣に議論できる仲間がいるから、チャレンジできる。



優しさの習慣

発表する人を見るのは、決まりだからではなく、優しさからだね。



すすんでいっぽ

何を描いてもいい。一人ひとり違っていい。だから、意欲的になれる。



つないでいっぽ

いろいろな考えはあるけど、違いや共通点はなんだろう。



みんなでいっぽ

「きっと増えるよ」「いや減るんじゃない」みんなて考えるから授業は楽しい。



JUMPの挙手

指先をみれば、やる気が伝わりますね。



思いをつなぐ

友達の意見を聴くことで、自分の考えに自信がもてる。



さすが！

自学自習ができる自律的学習集団へ。そして、自立した学習者へ。



優しさの連鎖

自分から拍手をする。その思いがみんなにつながる。



挑む

難しい課題から目を背けず挑むのは、最上級生だから。